

令和7年3月27日

**令和9年度（令和8年度実施）奈良教育大学教育学部入学者選抜について（予告）**  
**－教員を志す方に向け、新たな総合型選抜入試を導入します－**

奈良教育大学

奈良教育大学（以下、「本学」という。）では、令和9年度（令和8年度実施）から、本学教育学部入学者選抜について下記のとおり変更しますので、お知らせします。

本予告内容は現時点のものであり、今後の検討状況により変更になる場合がありますので、令和8年度に公表する「令和9年度入学者選抜要項」及び「令和9年度学生募集要項」の内容を必ず確認してください。

記

**1. 総合型選抜の選抜方法の変更について（要点）**

・ 総合型選抜入試を、新たに次の3つの区分に分割します。

\* 総合型選抜（意欲重視型）【新設】：共通テストを課さない

\* 総合型選抜（一般型Ⅰ）：共通テストを課す

\* 総合型選抜（一般型Ⅱ）【新設】：共通テストを課さない

※意欲重視型は全専修で募集します。一般型は、専修ごとにⅠまたはⅡのいずれかを募集します。また、意欲重視型と一般型は併願可能です。

**2. 募集人員等について**

・ 募集人員を、選抜区分ごとに以下のとおり変更します。

（1）総合型選抜

\* 意欲重視型：21人

\* 一般型Ⅰ：28人

\* 一般型Ⅱ：17人

（2）一般選抜

\* 前期日程：131人

\* 後期日程：58人

[詳細は、別紙1（令和9年度教育学部入学定員及び募集人員）をご確認ください。]

**3. 総合型選抜の内容について（概要）**

（1）出願要件

\* 意欲重視型：将来、教職に就く強い意欲を持つ者。併せて本学教職大学院へ進学し、高度な専門性を身に付ける意欲を持つ者が望ましい。

\*一般型 I・II：以下のいずれかに該当するもの

1. 将来、教職に就くことを希望する者
2. 将来、本学大学院への進学を希望する者

## (2) 出願資格

【各区分共通】 次の各号のいずれかに該当する者

- ①高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）を卒業した者及び入試実施年度3月に卒業見込みの者
- ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び入試実施年度3月に修了見込みの者
- ③高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者及び入試実施年度3月末までにこれに該当する見込みの者

【意欲重視型】

「各区分共通」に加え、次の各号のいずれかに該当する者で、調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上、かつ、下表の専修別に指定する基準を満たしている者

- ①奈良県次世代教員養成塾前期プログラム修了者
- ②高等学校在学中に教育に関する科目を3単位以上修得または修得見込の者
- ③各地方自治体教育委員会が実施する教員養成にかかるプログラム（受講時間数が30時間以上のもの。なお、各地方自治体教育委員会が単独で実施するもののほか、他機関と連携して実施するものも含む。）を修了した者

\* 専修別指定基準

専攻	専修	指定基準
教育発達専攻	心理学専修	「国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語（英語）、情報」の各教科に含まれる科目のうち、評価欄のいずれかの学年に、評価が「5」である科目が1つ以上あること
教科教育専攻	数学教育専修	教科「数学」の学習成績の状況が4.0以上であること
	理科教育専修	「数学、理科、外国語（英語）」の各教科のうち、いずれか1つ以上の教科の学習成績の状況が3.8以上であること

上記以外の専修については、専修別指定基準はありません。

【一般型 I】

「各区分共通」に加え、大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験する者  
[詳細は、別紙2（令和9年度総合型選抜（大学入学共通テスト 利用教科・科目一覧））  
をご確認ください。]

## 【一般型Ⅱ】

「各区分共通」に加え、調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上である者、かつ、下表の専修別に指定する基準を満たしている者

ただし、美術教育専修については、これらの調査書に関する基準を設けない。

### \* 専修別指定基準

専攻	専修	指定基準
教科教育専攻	理科教育専修	「数学、理科、外国語（英語）」の各教科のうち、いずれか1つ以上の教科の学習成績の状況が3.8以上であること

上記以外の専修については、専修別指定基準はありません。

## (3) 選抜方法

### (要点)

総合型選抜では、意欲重視型・一般型とも共通の専修別第一次選考（現行同様、専修ごとに理解力・表現力・意欲等を評価する試験）を実施します。ただし、「共通加点枠」は廃止します。

また、一般型Ⅰの選抜においては、第二次選考として、第一次選考合格者に大学入学共通テストを課します。意欲重視型・一般型Ⅱの選抜においては、第二次選考は課さず、出願書類等と専修別第一次選考の内容を総合的に判断します。

上記の変更に伴い、専修別第一次選考の内容・評価の観点等の一部を変更します。

[詳細は、別紙3（令和9年度総合型選抜第一次選考の内容・評価の観点）をご確認ください。]

## 4. 一般選抜における個別学力検査等の一部変更について

- ・ 保健体育専修における個別学力検査のうち、「自己推薦書」を廃止します。

## 5. 編入学試験・転入学試験の一部変更について

- ・ 編入学試験について、現在実施している専修のうち、保健体育専修の募集を停止します。
- ・ 転入学試験について、年度ごとの募集を行わず、入学定員（255名）を下回った場合に募集することとします。

以上

(本件問合せ先)  
奈良教育大学入試課  
TEL:0742-27-9126  
FAX:0742-27-9145  
Mail: nyuusi@nara-edu.ac.jp

別紙1 令和9年度教育学部入学定員及び募集人員

課程・専攻	専修・履修分野	入学定員(名)	募集人員(名)	募集人員内訳(名)(注1)						
				総合型選抜			一般選抜			
				意欲型	一般型		前期日程	後期日程		
					I	II				
学校 教育 教員 養成 課程	教育 発達 専攻	教育学専修	15	1	3		8	3		
		心理学専修	15	1	2		8	4		
		幼年教育専修	15	1	3		7	4		
		特別支援教育専修	12	1	3		6	2		
	教科 教育 専攻 (注2・3)	国語教育専修	初等教育履修分野	25	13	1	2		8	2
			中等教育履修分野		12	1	2		8	1
		社会科教育専修	初等教育履修分野	25	14	2	2		8	2
			中等教育履修分野		11	1	2		6	2
		数学教育専修	初等教育履修分野	26	14	1	2		8	3
			中等教育履修分野		12	1	2		7	2
		理科教育専修	初等教育履修分野	29	17	1		3	10	3
			中等教育履修分野		12	—		3	6	3
		音楽教育専修	初等教育履修分野	14	2			2	7	3
			中等教育履修分野					—		
		美術教育専修	初等教育履修分野	11	1			1	4	2
			中等教育履修分野		—			3		
		保健体育専修	初等教育履修分野	19	1			2	4	4
			中等教育履修分野						2	3
		家庭科教育専修	初等教育履修分野	9	3	1		—	1	1
			中等教育履修分野		6	—			2	3
技術教育専修	中等教育履修分野	6	1			1	2	2		
英語教育専修	中等教育履修分野	12	1	1			6	4		
教伝 育統 専文 攻化	書道教育専修	15	1			1	8	5		
	文化遺産教育専修	7	1			1	3	2		
合計		255	255	21	28	17	131	58		

(注1)総合型選抜の入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、前期日程の募集人員に加えます。

(注2)以下の選抜における教科教育専攻の一部該当専修については、同一専修内に限り、初等教育履修分野又は中等教育履修分野のいずれかを第1志望に、他方を第2志望にすることができます。いずれかの履修分野を第1志望又は第2志望としたことにより、有利又は不利に評価されることはありません。また、第2志望を選択せず、第1志望のみの出願も可能です。

■総合型選抜：国語教育専修、社会科教育専修、理科教育専修、美術教育専修、保健体育専修

■一般選抜【前期日程・後期日程】：国語教育専修、社会科教育専修、数学教育専修、理科教育専修、保健体育専修、家庭科教育専修

(注3)以下の選抜における教科教育専攻の一部該当専修については、履修分野単位での募集を行いません(専修単位で募集)。履修分野の決定については、入学後に意向聴取の上、行います。

■総合型選抜：音楽教育専修、保健体育専修

■一般選抜【前期日程・後期日程】：音楽教育専修、美術教育専修

## 別紙2 令和9年度総合型選抜（大学入学共通テスト 利用教科・科目一覧）

下表は、「一般型Ⅰ」における第二次選考（大学入学共通テスト）の成績利用方法をまとめたものです。受験の際は最低限、下表の通り判定ができるよう受験してください。必要科目が1つでも未受験の場合は、第二次選考の判定ができず「不合格」となりますので注意してください。複数の教科・科目から選択となっている場合で、複数の教科・科目を受験した場合は、最も高得点の教科・科目の成績を uses。

対象専修	大学入学共通テスト 利用教科・科目
教育学専修	①外国語から1科目（200点） ②「国語」（200点） ③数学から1科目（100点） ④数学（③以外の科目）、地理歴史・公民又は理科から1科目（100点） [3教科4科目]又は[4教科4科目] 合計600点
心理学専修	①外国語から1科目（200点） ②「国語」（200点） ③数学から1科目（100点） ④数学（③以外の科目）、地理歴史・公民又は「情報Ⅰ」から1科目（100点） [3教科4科目]又は[4教科4科目] 合計600点
幼年教育専修	①外国語から1科目（200点） ②「国語」（200点） ③数学、地理歴史・公民、理科又は「情報Ⅰ」から2科目（200点） [3教科4科目]又は[4教科4科目] 合計600点
特別支援教育専修	①外国語から1科目（200点） ②下記の i. ii. のいずれか（400点） i. 「国語」に加えて、数学、地理歴史・公民、理科又は「情報Ⅰ」から2科目 ii. 数学、地理歴史・公民、理科又は「情報Ⅰ」から4科目 [3教科4科目]又は[4教科4科目若しくは5科目]又は[5教科5科目] 合計600点
国語教育専修	①外国語から1科目（200点） ②「国語」（200点） ③数学、地理歴史・公民、理科又は「情報Ⅰ」から2科目（200点） [3教科4科目]又は[4教科4科目] 合計600点
社会科教育専修	①外国語から1科目（200点） ②地理歴史・公民から2科目（200点） ③下記の i. から iv. のいずれか（200点） i. 「国語」 ii. 数学から2科目 iii. 理科から2科目 iv. 数学から1科目及び理科から1科目 [3教科4科目若しくは5科目]又は[4教科5科目] 合計600点

専修	大学入学共通テスト 利用教科・科目
数学教育専修	①外国語から1科目 (200点) ②「数学Ⅰ、数学A」及び「数学Ⅱ、数学B、数学C」 (200点) ③下記の i. 又は ii. のいずれか (200点) i. 「国語」 ii. 地理歴史・公民、理科又は「情報Ⅰ」から2科目 [3教科4科目若しくは5科目] 又は [4教科5科目] 合計600点
保健体育専修	①外国語から1科目 (200点) ②「国語」 (200点) ③「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」又は「情報Ⅰ」から1科目 (100点) [3教科3科目] 合計500点
英語教育専修	①外国語から1科目 (200点) ②「国語」 (200点) ③「数学Ⅰ」又は「数学Ⅰ・数学A」から1科目 (100点) ④「数学Ⅱ、数学B、数学C」 (100点) [3教科4科目] 合計600点

### 別紙3 令和9年度総合型選抜第一次選考の内容・評価の観点

第一次選考における、具体的な内容及び評価の観点等は下表のとおりです。

専攻	専修	第一次選考の内容、評価の観点、加点対象となる公的な資格等
教育 育 発 達 専 攻	教育学専修	教育に関する資料を提示し、レポートを課す。そのレポートの内容に基づいて集団面接の形式で質疑応答および集団討論を行い、教育にかかる理解や関心のほか、学校教員としての資質・能力を総合的に評価する。あわせて、教育学専修を志望した理由についても確認する。
	心理学専修	子どもの発達・教育に関する課題やテーマを与え、その課題やテーマについてのプレゼンテーションを行わせ、その内容に基づいて個人面接（志願者が多数の場合は集団面接）の形式で質疑応答を行う。これにより、子どもの発達・教育にかかる理解や関心、課題やテーマを正確に読み取る力のほか、小学校教員としての資質・能力を総合的に評価する。
	幼年教育専修	幼児教育・保育に関する講義等を行い、その内容に即した課題についてレポートを課す。その上で、その課題に基づくプレゼンテーション等を課し、乳幼児や幼児教育・保育に関する関心や理解を中心に、講義等の理解力、課題を解決し表現しようとする意欲や能力等、保育者としての資質・能力を総合的に評価する。
	特別支援教育専修	人間（障害がある場合を含む。）の発達と教育に関する講義を行い、レポートを課した後、レポートの内容に基づいて個人面接の形式で質疑応答を行い、人間の発達と教育にかかる理解や関心のほか、特別支援教育を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。あわせて志望動機についても確認する。
教 科 教 育 専 攻	国語教育専修	国語に関する文章を読ませ、それをもとに、いくつかの課題を行わせることにより、国語の諸問題への理解や関心、またその発信力、表現力、教科を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。試験は個人面接の形式で行う。※志願者数により集団面接になる場合もある。
	社会科教育専修	人文、社会等の分野から選んだテーマに関する講義等を行い、レポートを課し、人文、社会等にかかる理解や関心、社会科を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。
	数学教育専修	数学の問題を課し、白板や模型等を使って解決させ、その解決過程等について個人面接の形式でプレゼンテーションを行わせ（※）、数学にかかる理解や関心のほか、算数・数学科の教員としての資質・能力を総合的に評価する。あわせて、算数・数学科の教員になることを目指す理由や、算数・数学についての経験やアピールを確認する。※志願者数により、プレゼンテーションに代えて記述式試験で評価することがある。
	理科教育専修	自然科学におけるものの見方、考え方に関係するテーマに関する講義を行い、レポートを課し、自然科学に関する関心や、科学的な思考力・表現力を身につける意欲、そのほか理科を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。

教 科 教 育 専 攻	音楽教育専修	<p>音楽科教育に関する課題やテーマを与え、レポートを課した後、レポートについて個人面接の形式でプレゼンテーションを行わせる。その内容に基づいて質疑応答を行い、志望理由書などの内容も踏まえながら、他者との協働経験、現代の教育実践に対する理解や関心ならびに地域の初等教育への意欲を評価する。実技検査として、子どもの歌の弾き歌いをさせ、音楽を担当する教員としての適性と資質・能力を評価する。</p> <p>○加点対象となる公的な資格等（該当する場合は、活動報告書「4. 学内での活動内容、学校外での活動内容」に記入してください。）</p> <p>・生徒会活動（会長、副会長などの生徒会役員に1年以上）、部活動（2年以上）</p> <p><b>【持ち物】</b> 受験者自身が選択した子どもの歌（1曲）の弾き歌い用楽譜</p>
	美術教育専修	<p>大学教員が指導者となって授業を行い、その中で、実技（図画工作・美術の授業でも扱われるようなテーマでの紙による立体制作）とレポートを課す。授業の中での、①導入やまとめの時間での授業者と受験者との対話、および受験者間の議論②実技内容、③図画工作・美術の内容及び現代の教育課題に関するレポートが評価対象となる。これらを通して、図画工作・美術における理解力と思考力、技能と表現力を問い、子どもたちに創造活動の楽しさを味わわせることができる基盤となる小学校教員や中学校教員としての資質・能力を総合的に評価する。</p> <p><b>【持ち物】</b></p> <p>はさみ、カッターナイフ、鉛筆、消しゴム、雑巾</p> <p>その他の用具は持参しないこと。なお、カッターマット、定規、のり、セロハンテープ、ホッチキス、のり付け用の紙、仮とめ用のクリップ、立体制作用の造形紙は、大学で用意するので不要。</p>
	保健体育専修	<p>運動に関する課題やテーマを与え、実技および筆記試験等を課すことにより、スポーツ文化についての理解や関心、健康教育の重要性の認識のほか、保健体育を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。</p> <p>上記とあわせて、個人面接の形式で志望動機、スポーツ経験（スポーツ・運動歴調書の内容を含む。）、教員を志す者としての資質、保健体育についての興味・関心、抱負等についても評価する。</p> <p><b>【持ち物】</b></p> <p>運動靴（室内用）・運動服（ただし、更衣室は用意しますが、できるだけ運動服で来てください）、必要に応じて雨具（傘など）・飲料水</p> <p>なお、着替えやウォーミングアップについては、集合時に指示する。</p>
	家庭科教育専修	<p>生活科学に関する課題やテーマを与え、実技等を行わせ、その過程等についてプレゼンテーションを行わせ（※）、生活科学に関する知識や技能のほか、学校教員としての資質・能力を総合的に評価する。あわせて、個人面接の形式で学校教員になることを目指す理由、教育への意欲などを確認する。</p> <p>※志願者数により、プレゼンテーションに代えてレポートを課すことがある。</p> <p>○加点対象となる公的な資格等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国高等学校家庭科被服製作技術検定2級以上（公益財団法人 全国高等学校家庭科教育振興会）</li> <li>・全国高等学校家庭科食物調理技術検定2級以上（公益財団法人 全国高等学校家庭科教育振興会）</li> <li>・全国高等学校保育技術検定2級以上（公益財団法人 全国高等学校家庭科教育振興会）</li> <li>・調理師免許</li> <li>・製菓衛生師免許</li> </ul> <p><b>【持ち物】</b></p> <p>エプロン、三角巾、手拭き用タオル、裁縫セット</p>



教科教育専攻	技術教育専修	<p>ものづくりに関する課題やテーマを与え、実技等を行わせ、その過程等についてプレゼンテーションを行わせ（※）、ものづくりに関する知識や技能のほか、中学校技術科の教員としての資質・能力を総合的に評価する。あわせて、個人面接の形式で中学校技術科の教員になることを目指す理由、教育への意欲、ものづくりについての経験などを確認する。※志願者数により、プレゼンテーションに代えてレポートを課すことがある。</p> <p><b>【持ち物】</b></p> <p>課題を解くために、汚れる作業が必要な場合がある。それに備えて、汚れてもよい服（体操着など）を用意すること。</p>
	英語教育専修	<p>教育に関する講義を行い、英語のレポートを課す。また、個人面接の形式で英語での質疑応答を行い、英語教育にかかる理解や関心のほか、英語を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。あわせて、教員への適性と意欲を確認する。使用言語は原則的に英語とする。試験での辞書等の使用は認めない。</p> <p>○加点対象となる公的な資格等（該当する場合は、活動報告書「3. 資格・検定等」に記入してください。）</p> <p>・英検 1 級、英検準 1 級、英検 2 級</p>
伝統文化教育専攻	書道教育専修	<p>書道（楷書、行書、仮名）に関する課題やテーマを与え、実技等を行わせ、書道についての理解や関心のほか、書道教育を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。あわせて、個人面接の形式で書道教育に関する資質及び意欲等について確認する。</p> <p><b>【持ち物】</b></p> <p>漢字用半紙・仮名用半紙・漢字用半紙に 4 文字から 6 文字用の筆・古筆原寸大臨書ができる仮名用小筆・墨（固形墨の使用が望ましいが、磨墨したものや墨液の使用も認めます。）・硯・下敷き・文鎮等、書道用具一式</p>
	文化遺産教育専修	<p>文化遺産の材質に関する講義を行い、レポートを課した後、レポートの内容に基づいて質疑応答を個人面接の形式で行う。文化遺産の保護・継承にかかる理解や関心、行動のほか、理科ないし美術を担当し、生徒をはじめとする他者と協働しながら課題の解決に立ち向かう教員・教育者としての資質・能力を総合的に評価する。</p>